

訂正日 令和2年(2020年)6月16日

令和2年(2020年)6月15日

漁業者の皆様へ

赤潮情報第8号(訂正)

昨日発表した赤潮情報第8号について、熊本県水産研究センターでは、三角西港地先は八代海としておりますので、下記のとおり訂正します(訂正前:有明海)。

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

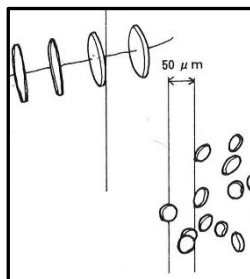
赤潮情報(パソコン)ホームページ <http://www.suiken.pref.kumamoto.jp/>

赤潮情報(携帯)ホームページ <http://www.suiken.pref.kumamoto.jp/keitai/akasio/main.html>

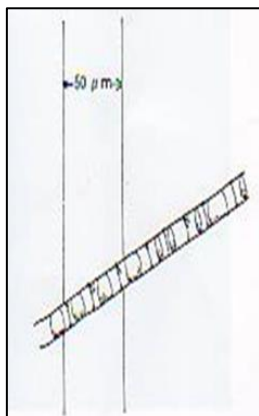
八代海の三角西港地先で赤潮が発生しています。

本日、熊本県が調査したところ、宇城市三角西港地先でタラシオシラ属を優占種とする混合赤潮を確認しました。細胞数が最も多いところでタラシオシラ属(珪藻類)が海水1mL当たり4,600細胞、スケルトネマ属(珪藻類)が1,000細胞、プロロセントラム属(渦鞭毛藻類)が900細胞が確認されました(着色域は下図を参照してください)。

本県において、これらのプランクトンにより魚介類がへい死したことはありませんが、周辺海域で魚介類の養殖、畜養等をされている方は、海の色の変化や飼育生物の状態に十分注意して下さい。



タラシオシラ属
Thalassiosira spp.



スケルトネマ属
Skeletonema spp.

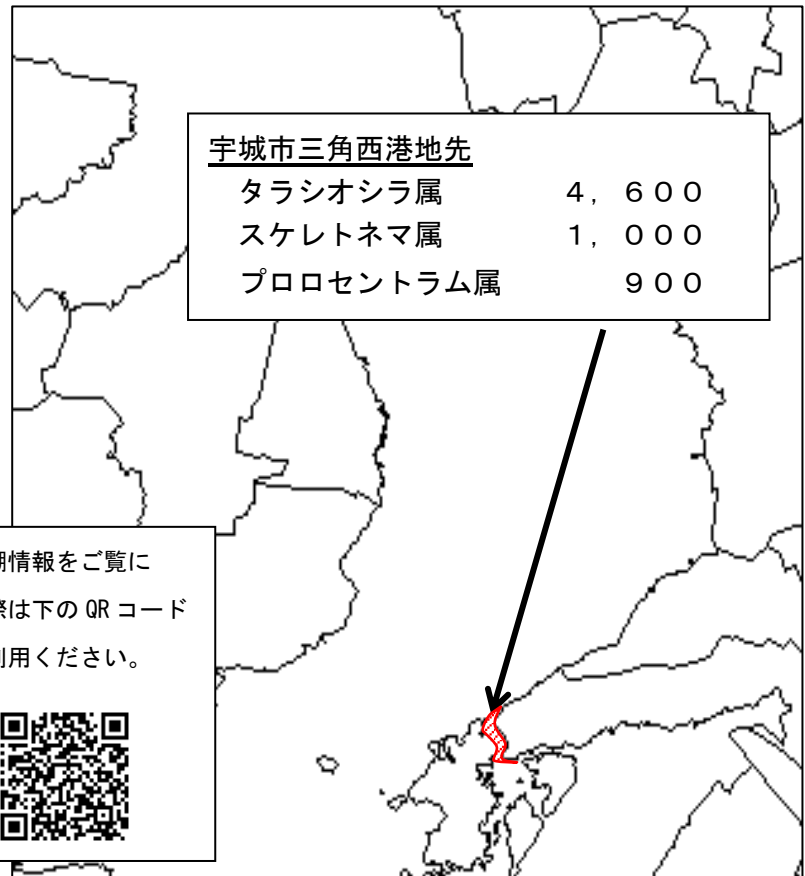


図 数字は海水1mL当たりの細胞数を示しています。斜線部は着色域を示しています。